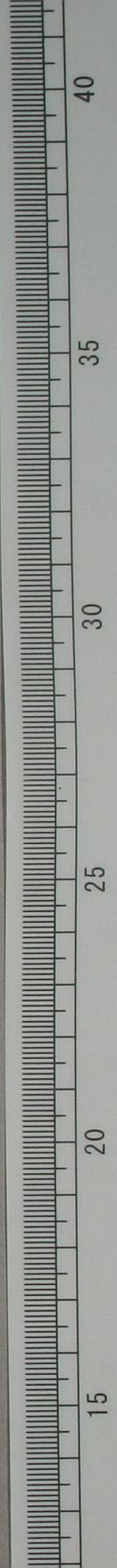




十翁草紙  
下

津田文庫  
文庫 1  
1866  
2



八十翁時若物語花梅下目録

女中此衣裳伽羅の薰物のり

銀の四分一流り

書院と出居との差別

股直のり

七月高麗菴の結

西丸も時を待たず

密人流り

徳物の下馬為の中味

半切のり

春糸通ひの習練

夜乃ささり

評定所遊女乃給仕

宗政前

五

010190616440



なり。伎師等も此の女と形をばきく。搦女中使  
用ひし。その女皆此女の真似をせし。是皆女の姿を  
なれぬなり。

延享の比町人の女も男のごとく。長羽打を着せし  
と見習ひ。よほどの奥方も。次第に若く成て。群集の所  
を。一日に二三人程。武士の中にも見をく。おるもた。町  
方一由法度不。作出し。まをす。今ハ若  
りのあり。今の世は只穢りの。まをす。と。若とわよの  
らぬ人ななり。

一昔ハ大身ハ。不及。人參。人參。人參。

近年ハ。人參。人參。人參。

一昔ハ。刀根指の。中多。人參。人參。人參。  
かくに。今ハ。寸尺。大。小。大。小。大。小。  
やれ。皆。平。女。男。女。男。女。男。  
一。の。所。改。名。れ。ば。よ。き。悪。き。皆。回。分。一。大。方。門。画。一。是  
人の。自分。了。管。物。数。券。を。十。人。ハ。十。色。ある。ま。き。よ。人。ま  
似。する。女。なり。

今も。若。きれ。の。程。と。ため。して。人。の。進。も。ま。と。ま。ぬ。す  
そ。中。又。至。て。不。心。治。の。人。ハ。又。二。損。を。を。悪。し。く。ため。す  
は。心。の。程。き。り。た。め。と。ぬ。ま。さ。し。も。身。ハ。ら。れ。て。毛。搦。す

1866-2

只柄斗ただねぶちひらうする悪人あくじんも先ま先ま多おほくありし小塚系こづかぎひら  
は。大牙おほいばの大おほ名な流りゅうが。ありしと指料さしりょうは致いたさるるごとく。役人やくじん  
大勢おほせいうて持系ちぎして。ためさせしは不切ふきれ大おほの男おとこのこし柄がら  
とを先力せんりきにまうせ。三四度切きりられども。只上ただうへ皮斗かわぶち切きりる方かた  
まう。一向いっこうふ切きりして止ぬ定さだめて目利めきりはあろうもたう。そ出来でき  
て切きりのりと。目利めきり極きまりくる上うへまう。指料さしりょうを致いたさるべきま  
成なて。出でる致いたべし。尤なほ大方おほほうはよく目利めきりをれば切きり向むか目  
利りき遠とほりぬりのといふも。右みぎのごとくのりあはば。ためさせ  
りの好このまうらうに。

一昔いっせきハ大牙おほいば。有あり。後ごは書院しよえん麻付あしづくる紙書院ししよえんと云い。小牙こいばのひら

居いとつひ。近年きんねん大牙おほいば小牙こいばとも。皆みな書院しよえんと云い。人ひとも大おほ名なを  
殿との様さまとつひ。小牙こいばハ止とどり様さまとつひ。尤なほれども。由よし藤本ふじもとの歴れきを  
殿との様さまとつひ。

一昔いっせきハ性来じやうらいする侍流さむらいりゅう上うへ下した忌威きゐを禱斗たううて。大おほくは致いたさるる  
りく。上うへの人も。致いたさるる。宗むねうきの之この尺手てぬかひ拭ぬぐう。はち巻まき  
し。性来じやうらいするも。今いまハ。下したく。侍さむらいも。中なるも。人ひとありき  
る。毛け致いたさるる。今いまハ。今いまハ。

一昔いっせきハ由よし藤本ふじもと死去しよきして。そ。毎まい年ねん七月しちがつ高たか松まつ籠かごこつ。の致いたさるる。大  
く。七なな回まい忌きまで。毎まい年ねん七月しちがつ立たち。立たち。六む月げつ晦み日にち廿七  
八はち間ま斗ぶちの杖丸すゐだまの上うへ。之この角かくに。ひら。結むすむ。杖すゐの系ぎうて。色いろ



きふをやる。

明曆五治

一八九十年以前。權持の下馬落しと云ふを云々。今ハ  
其流儀城ノ下。中ノ昔ハ家来侍先下馬立他法ハ先ノ系  
人ノ下ノ門ノ方ニ立ニ番ノ來人ノ下成。其ノ次ノ下  
成ノ人ノ服ノ立。先ノ遠ハ下。口取ノ和。口取ノ  
下。系物ノ服。其ノ趣。扱下ノ落。ハ先ノ人ノ侍  
宿と出。時。人ノ玄園ノありて。權持立。權持ノ  
人。其ノ前。權持と指。出。時。人ノ權持ノ右ノ打。右ノ  
の手。さや城。さや。權持と改。見。て。さや。は。先ノ入。持  
と。下。時。權持。り。上。て。お。け。立。又。人。乃。知。人。ノ。下。

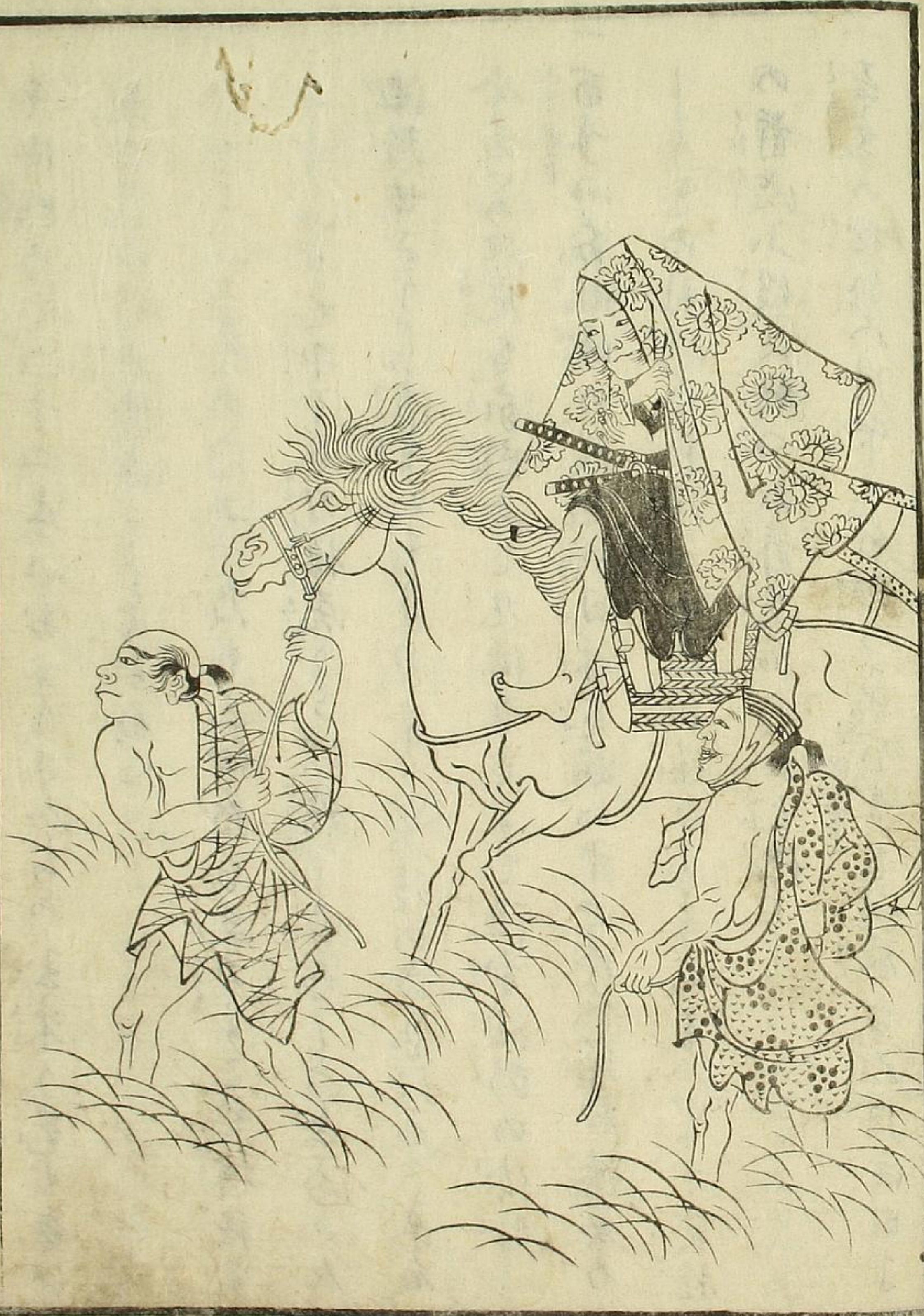
立。ち。か。つ。物。持。た。ど。あ。つ。る。時。權。持。又。權。乃。權。先。下。て。人。の  
右。の。手。れ。造。つ。つ。出。成。一。日。の。内。身。度。も。皆。如。此。是。と。下。る。落  
と。し。ふ。其。後。人。乃。我。見。る。に。及。む。入。持。と。中。付。る。也。  
是。其。の。權。持。權。持。る。事。と。見。面。の。事。と。は。あ。り。と。傳。へ。る。ハ  
途。中。も。て。え。た。權。の。權。先。と。お。下。る。事。と。致。し。て。持  
之。近。多。ハ。人。も。ひ。と。け。と。し。ら。ば。又。其。の。留。打。下。橋。の上。細  
也。上。り。坂。下。り。坂。が。け。際。ヶ。極。の。所。と。て。打。替。す。と。云。ふ。  
一。番。を。傳。の。奉。公。人。會。し。付。目。見。し。翌。日。傳。状。を。仕。と。約束。し。て  
を。づ。し。更。状。の。送。り。不。案。時。は。傳。人。ノ。立。者。と。味。寄。り。込。め  
ん。さ。く。し。て。訳。も。受。け。り。あ。れ。ば。其。時。不。面。由。充。存。存。り。也。

禮文致させ。尚多一々年ハ他不奪公。此構ハ既。而尤長以。既之  
入禮文と。礼を院。うる。中。も。其。無。之。道。多。は。合。と。禮。目。  
見。し。も。を。づ。す。や。の。り。多。一。

下。昔ハ用。子。の。手。紙。五。巻。子。稀。之。使。は。上。り。く。海。女。中。方。も。お。は。し。  
大方。下。女。使。之。を。年。ハ。は。上。り。て。海。子。も。終。り。つ。く。上。封。ま。て。  
彼。それ。取。紙。言。を。し。す。切。る。も。皆。て。は。六。十。多。以。来。す。切。出。り。  
一。ひ。の。し。を。用。子。魚。取。無。ひ。ま。る。に。支。度。大。分。む。づ。り。く。先。切。者。  
ある。人。ハ。法。子。以。き。方。習。ひ。支。度。亦。一。也。先。合。子。と。極。一。刀。銀。  
指。の。物。数。奈。結。搦。小。極。一。小。袖。を。う。ま。羽。折。を。切。志。と。候。合。一。  
よ。き。伽。羅。と。求。め。才。持。と。し。を。み。け。等。の。支。度。亦。月。も。半。

多。も。掛。り。扱。奪。人。と。お。り。小。四。月。も。前。分。茶。や。一。川。茶。屋。女。と。  
あ。一。し。ら。ひ。を。づ。り。成。修。煉。し。額。の。扱。扱。髪。月。代。の。仕。方。ま。で。  
切。者。の。指。圖。ハ。伊。世。才。の。丸。也。一。は。せ。き。ひ。き。を。り。魚。取。風。ハ。  
取。く。切。者。と。同。乃。し。て。切。さ。る。は。依。て。魚。取。無。ひ。す。る。人。也。時。  
直。公。儀。お。り。格。別。に。も。の。之。以。友。ハ。そ。ん。志。よう。それ。ハ。あ。り。  
の。の。小。非。ず。魚。取。無。ひ。す。て。毛。す。る。そ。う。あ。り。し。不。禮。の。子。也。  
道。多。の。魚。取。無。ひ。す。る。人。也。衣。裝。も。凡。若。者。伊。達。り。き。子。也。わ。  
も。た。う。金。指。あ。り。く。志。の。り。き。ふ。り。あ。り。酒。の。み。と。う。ら。く。格。  
ひ。の。い。ま。り。中。く。魚。取。る。色。の。ち。皆。て。あ。り。若。ハ。志。是。格。  
子。より。弁。ハ。な。り。二。寸。の。つ。が。祢。み。寸。の。つ。が。ね。と。て。下。く。の。め。





菱川氏圖



天下

そび物も六十二年以前より。さんちや出来り。是も無ひ  
来る人の風。悪友成りて。もつる。故に。

一 此の一年の内。一度も。二回度も。使刀も。せ。持。徳。も  
亦。と。つ。て。下。も。刀。指。尻。う。げ。猪。も。り。り。と。急。ふ。と。ん  
油。乃。せ。ざ。り。し。近。多。い。そ。建。刀。も。し。し。不。禮。の。さ。う。日。此。を。友  
今の。若。死。流。を。家。内。も。て。丸。腰。も。ど。も。て。随。分。油。乃。の。体。に。  
一 百。多。の。勢。似。城。の。彼。を。式。日。評。定。所。十。四。人。宛。お。指。女。の  
し。う。と。の。用。れ。為。熱。造。子。の。為。お。指。る。よ。し。大。若。八。軍。中。実。檢  
の。首。洗。小。役。又。獄。の。首。洗。小。も。云。傳。ふ。  
一 奉。子。の。指。ひ。六。月。下。の。切。の。子。百。多。も。以。前。を。六。月。四。日。子  
正保慶安

こきん。篠。越。と。若。高。藩。も。新。巻。も。志。や。う。ふ。刀。と。こ。う。や。う  
の。貝。吹。吹。立。人。数。と。僅。す。六。月。初。日。小。さ。さ。と。立。る。友。又。物  
小。大。勢。子。佐。藤。来。子。た。は。遠。明。六。日。古。味。方。は。一。系。よ。し。俗。人  
と。中。そ。時。必。明。六。日。何。時。何。方。も。指。以。指。日。と。約。来。一。叔。六。日  
は。子。佐。来。る。そ。人。数。六。十。人。も。百。人。も。廿。人。も。三。十。人。も。あ。る  
内。若。働。き。さ。う。あ。る。成。掟。ぶ。皆。右。に。趣。友。一。箇。六。十。人。も。あ。る  
き。分。つ。て。二。三。十。人。は。あ。る。叔。六。日。は。家。の。か。と。あ。り。き。傳。ふ  
人。も。二。人。も。三。人。も。あ。る。怪。我。も。き。指。し。世。話。と。や。く。子  
佐。の。内。向。が。り。甲。若。も。子。佐。佐。大。將。は。成。勿。指。之。人。の。子。一  
甲。若。何。も。以。り。く。伊。達。も。る。玉。ぶ。す。き。の。け。傳。ふ。勢。也。を

待たず一勝負ありて是ハ軍功傳立の爲に百四十年以前ハ  
必死に百年以前以前は是ハ軍功傳立の爲に百四十年以前ハ  
六十七年以前以前は是ハ軍功傳立の爲に百四十年以前ハ  
と賣りゆく是を求て六月四日子供萬葉をて辨巻貝と吹  
歩け又介の子供も主を尋りて主も十人も女人も集り  
去りふ切とをとりて大昔の萬葉刀ははさや本刀持杯は  
て勝負する夜怪我もなき夜りの本の本刀法交ふなり  
去やうふ刀とて中の身はさけり本とてやうふ作り打  
合ハ打ちたる方負はれ去りて子供を人より十二歳を  
女優も持友女祝の伯母などを送りて近多ハ萬葉刀

作り振遣ひ去刀のころ去くそりりの振ひ乃辨は是ハ  
町の彼志乃まことと名をとり又人形も鞍の上に乗換  
も半筋糸の橋より毎巻と戦ひ或ハ島軍の辨を外  
名に勇士乃勵む所人形は振るるな子供は勇士を  
けすは志の出来たる事近多ハ境町の彼志を人形は  
り丈成上庭の床の上よりけり見物などなす  
一百二十年前ハ女の子をうとう打とりて中へ  
ハ妻を離れて六日或ハ一月の内又新妻を嫁入る時  
初め妻を必さういさう打企む切志取親女と打合  
て男を首てのまふ子は非はる前の女み二人もあはれ

親中の達志なる女々。二十人。二十六人。百人も。才代は高儀  
し。新妻の方へ使を遣はし。是は家老の役。口上は。此等々  
之のさうさう打。何月幾日何時。云々。持来道具。ハ。本刀を  
りとも。持来。志ある。此等々。其儀を中。遣は。大方。志ある。之  
先。ても。家来。此等々。新妻。何分。も。此等々。云々。中。も。有。り。  
左。極。よ。り。お。す。れ。ば。一。生。の。大。船。之。成。程。お。待。以。阪。返。り。有。り。  
男。の。携。る。ハ。使。九。次。斗。り。て。其。後。を。男。一。切。不。出。合。法。之。扱  
日。陪。は。親。別。の。妻。系。物。り。て。使。女。を。皆。う。ち。り。く。く。し。禱。禱。  
髪。と。礼。し。又。の。あり。物。袷。巻。か。ど。り。甲。斐。く。教。出。立。志。ある。以。紙  
と。持。押。寄。る。門。と。扉。を。也。意。亦。より。礼。入。瑞。登。障。子。あ。ら。う。と

奉。小。こ。を。す。其。時。と。考。へ。妻。の。仲。人。と。侍。女。帝。先。妻。の。時。の。侍  
女。席。同。時。は。出。會。去。中。へ。入。り。さ。ま。く。云。葉。を。お。し。返。し。む。り。ハ  
さ。う。さ。う。打。は。二。三。度。お。ま。れ。ぬ。を。あ。し。七。十。年。以。前。ハ。十。斗  
の。さ。ま。く。あ。ら。う。さ。う。さ。う。打。に。十。六。度。お。ま。れ。出。し。あ。ど。禱。り。し。  
百。年。以。來。す。れ。と。あ。し。  
一。む。り。ハ。奉。寄。の。舞。を。や。り。振。旦。の。音。味。奉。寄。ハ。九。九。前。其。外  
侍。女。席。の。市。右。衛。門。探。敷。十。人。有。り。麻。上。下。り。來。り。客。同。前。に。  
料理。馳。走。は。儀。過。て。座。敷。へ。出。一。礼。有。客。も。侍。女。席。と。り。何  
ぞ。承。度。と。承。令。一。流。物。假。令。大。藏。冠。き。よ。す。奉。志。ん。き。終。わ。り。  
整。う。と。さ。あ。ぐ。敷。を。何。人。務。仕。也。と。晒。乞。し。て。帰。時。客。前。を。す

れば不福を年はすきとす。

一むの、津陽理小宮祝經ヶ極の書曲、近年とち替り、是より  
りの初ハ織田信長公大崩後、大キ不系外、秋も森うね、紀立々  
ね、淋しう。伽よハ城玄向、南朝向、南朝小燈のお清うと、以不  
捨女、此二人、昼夜をまれず。そお、其紀傳、多々物語中、然れ毎  
秋の子友、咄も絶おづうハ、読書文者多れば、何ぞ面白き文、此  
他も、讀て、古懸入べしとて、おづう、穢退せしむ。其是、球こ  
まぐ、思案し。我經、志や、お五殿と申、時、お妻へ下り、あふ、又  
まぎの、お若姫上り、いと申、女お、たをむれ、あひ、いと、つ、ま  
お、讀き、うせ、申、このお、面白う、う、ハ、一燈、威、は、堪、る、事、之

後、素讀を、つ、り、ま、あ、き、う、ふ、城玄、南朝中、ハ、是に、始、し、付、て、  
う、こ、ひ、ひ、つ、て、我、と、て、そ、時、分、由、致、分、お、出、さ、る、丹、後、七、希、在、の、  
橋本、筑後、と、し、我、他、才、一、の、利、殺、め、の、時、は、夢、日、さ、ゆ、る、志、  
才、く、此、若、才、は、但、て、ふ、く、と、は、若、才、上、り、り、由、前、の、子、を、傳、り、こ  
る、友、名、と、津、陽、理、と、付、し、る、上、り、の、名、始、く、太、七、前、右、衛、門、ハ、  
よ、る、り、志、史、寛、文、の、比、紀、前、が、四、代、の、祖、之、扱、ふ、し、と、付、た、乃、  
者、と、も、終、日、讀、る、信、長、公、傳、乃、弁、面白、う、り、う、ふ、是、紀、前、乃、元、  
祖、く、是、も、後、を、向、き、う、ふ、と、右、衛、門、の、死、に、手、と、つ、けて、二、味、  
線、日、合、せ、読、る、少、人、感、は、堪、ら、う、と、て、り、の、事、に、今、一、流、傳、り、  
以、て、度、ハ、武、士、の、働、を、け、し、き、取、又、靜、澄、の、政、の、文、化、る、べ、し

とく。別当人の句。大江山酒天童子と。光退治の事と傳。  
先を橋本筑後ふしと付る。依く今又酒天童子ハ筑後家の  
淨よりとなり。十二辰ハ祀前家の上よりとなる。叔志より  
讀る斗より。後ハ何きも人形の仕方付るやうふと有く。  
箱の文ハ傀儡師と。文句の何やと仕形して。人形まい屯。  
是より何や清り初る。めといひ十二辰斗也。

一六七十年の昔也。上より。漸二三十流より。上より。讀る。元辰  
日づの四六流も。覺まして。素人の数寄て。讀る。も。及。行。四  
六。辰。より。て。ハ。不。覺。六。十年。以前。系。統。と。ハ。不。在。於。上。乃。名。  
存。り。と。一。流。りの。ハ。熊。谷。光。陳。の。答。賢。人。孫。の。之。流。乃。行。十

之。覺。たる。ハ。名。卷。の。事。に。云。く。去。に。依。く。庭。敷。より。讀。る。も。元。辰  
の。上。より。教。も。同。く。讀。り。或。ハ。二。度。も。三。度。も。讀。り。け。進。む。者。の。人  
也。あ。う。す。す。今。ハ。左。ハ。右。四。六。月。過。て。二。三。度。も。讀。ハ。飽。は  
つ。る。や。う。

一むりハ百六十年ハ前頃と。うらふと云ふ。始りハ。うらふらと  
ハ。不。地。民。の。お。と。け。坊。主。う。ら。成。代。り。う。ら。不。友。重。不。友。の。名。と。  
里。う。ら。と。云。く。春。より。拍。子。す。ま。て。法。人。面。白。り。う。ら  
う。の。う。ら。と。ぬ。人。ハ。た。く。其。後。百。二。十。年。を。り。以。不。不。獲。海。  
ハ。不。地。坊。主。の。名。也。他。也。鏡。深。と。付。て。う。ら。ふ。う。ら。う。ら。よ。う。  
を。や。り。法。人。才。子。と。成。或。公。家。流。す。流。ひ。て。こ。の。弁。威。ト。以。弁

おとりのあまをへうと。菟藻と獲英志多し。其唱分い。山がら  
以。何といひて。菟藻の油き小何と。あうう。以世をかど  
つふあ。そ後長あ。ととき。奇採といひし。長あ。始を。祢直  
町小。かあき。神。右近。源左。米つ。といふ。志か。く。建あき。英男。と。し。  
夫と。本の人。形。法。抜。人。形。を。他。り。夥。く。賣。め。以。よ。志。と。し。が。  
以。源。左。米。つ。長。あ。小。海。乃。下。り。といふ。子。成。他。り。う。う。ふ。との。弁  
を。や。り。後。ま。を。仕。形。し。て。舞。く。と。振。巴。の。首。先。亭。之。り。  
客。の。所。定。し。く。海。乃。下。り。と。舞。す。又。ま。次。小。か。や。り。と。る。人。し  
舞。す。又。客。亭。之。り。も。所。定。し。く。舞。す。かく。の。如。く。何。れ。舞  
と。一。日。の。うち。幾。交。も。舞。我。等。幼。少。の。時。分。客。の。新。交。を。と。十

七番振舞。よ。ま。かり。入。の。けり。舞。し。そ。後。山。崎。下。り。といふ。長  
あ。是。も。ま。や。り。く。舞。そ。後。六。十。年。は。う。り。以。前。祢。直。町。勘。之。所  
左。の。彼。志。中。多。門。左。米。つ。出。來。小。さ。し。花。井。女。之。所。五  
井。右。派。玉。門。子。之。助。山。川。内。記。之。撰。の。と。進。あ。き。英。男。拍。子。吹  
奏。の。き。志。ま。く。以。等。奇。合。加。賀。ぶ。といふ。あ。う。ひ。出。は。菟。藻  
小。ま。け。ぬ。あ。く。そ。引。は。き。小。む。わ。う。の。ま。き。つ。祢。直。町。といふ。志  
あ。以。志。と。毛。他。り。と。り。祢。直。町。といふ。六。境。町。の。子。と。六。七。十。年  
以。前。を。祢。直。町。と。中。さ。う。ひ。町。といふ。人。なり。  
一。津。子。の。元。六。志。の。通。夜。子。後。子。代。七。席。左。米。つ。紀。前。院。後。の。百  
年。以。來。傳。く。あ。え。と。う。く。六。七。十。年。以。前。の。上。手。ども。紀。前。院。後

さのまの子。近江石見伊勢大板永平近多ハ古佐なり。古  
古まを。紀前子。後の若。六七十一年以前ハ清。秋  
教。何。人。を。耳。を。す。す。て。毎。日。す。て。も。何。う。は。と。と。  
ハ。は。せ。城。東。山。の。藩。教。度。す。て。も。何。の。さ。る。が。お。と。と。

関八州を日本半國小のけ何ハわど。武勇強き。昔。  
云傳。一。さ。建。バ。清。入。國。ハ。後。も。上。り。り。古。ま。ハ。和。泉。を。ま。か  
づ。て。昔。の。勇。士。全。時。全。平。か。よ。の。教。と。上。り。り。に。つ。じ。し。は。  
關東の形教に合夥。一。ま。り。し。し。一。ま。次。の。席。を。永。平  
さのま。并。記。古。佐。も。も。是。に。教。して。文。向。も。勤。苦。懲。戒。の。を  
と。お。と。し。し。一。人。の。心。は。理。は。感。ず。る。事。多。し。と。ま。ん。今

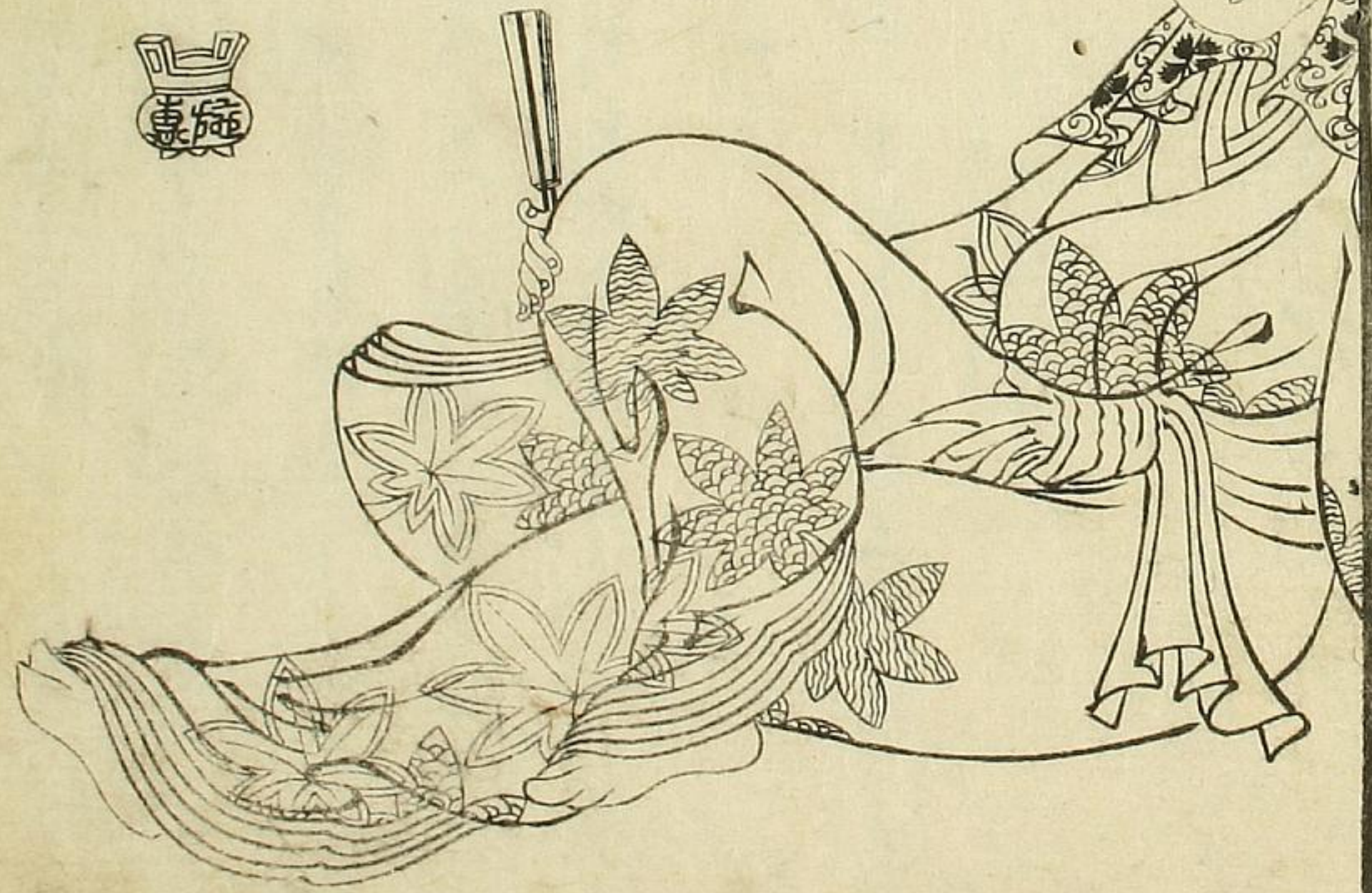
の。考。後。お。と。し。し。文。向。を。お。バ。好。色。小。之。親。と。く。ふ。一。或。を  
合。指。成。盜。と。り。ま。て。ハ。中。一。て。親。小。を。げ。き。を。掛。る。と。手。扱  
と。せ。る。さ。る。に。よ。り。て。妾。者。を。す。小。一。つ。と。て。悦。ば。し。き。こ。と  
を。一。い。ま。し。し。き。り。の。こ。と。一。中。に。ま。や。り。江。牙。に。懸。く。の。懸  
と。な。り。一。友。を。江。牙。に。傳。の。風。俗。く。づ。進。を。合。治。系。の。風  
に。た。り。一。小。舟。航。を。考。後。お。の。會。を。お。一。會。料。を。九。或。を  
古。ま。号。を。お。と。の。や。清。り。う。と。上。り。小。控。れ。バ。古。ま。方。り。一。何  
古。ま。と。し。し。古。ま。号。を。授。く。る。是。を。和。と。思。ひ。手。扱。と。な。り。  
何。の。飛。と。し。し。人。も。上。り。り。仲。者。と。て。ハ。何。古。ま。と。し。し。び。う。か。り  
と。毎。用。す。傳。の。姓。名。を。ハ。公。儀。子。小。の。を。用。と。と。包。切。内。院。ハ



傳泊衣裳



菱川氏圖





るれ。親の子供を急度あつらへ。親の身も。くさるる。心  
を。つれづれ。つくる。友。自分。樂を。好む。急子の。あつらひも。  
急度。あつた。と。云。と。ん。ま。く。あ。つ。く。友。子。供。も。友。達。の。格。も。  
あ。つ。く。と。く。は。親。と。よ。し。と。す。る。友。あ。る。べ。し。と。い。は。し。他。法。の。危  
合。乃。文。句。上。る。り。小。哥。に。あ。ま。り。や。つ。こ。の。子。供。も。親。の。身。を。か  
け。立。格。不。せ。し。今。ハ。親。の。上。る。り。に。子。供。の。之。味。添。着。て。父。子。乃  
神。之。え。に。去。に。よ。つ。て。親。方。の。是。見。不。用。度。く。存。在。の。懸。子。仕  
出。つ。る。子。多。し。

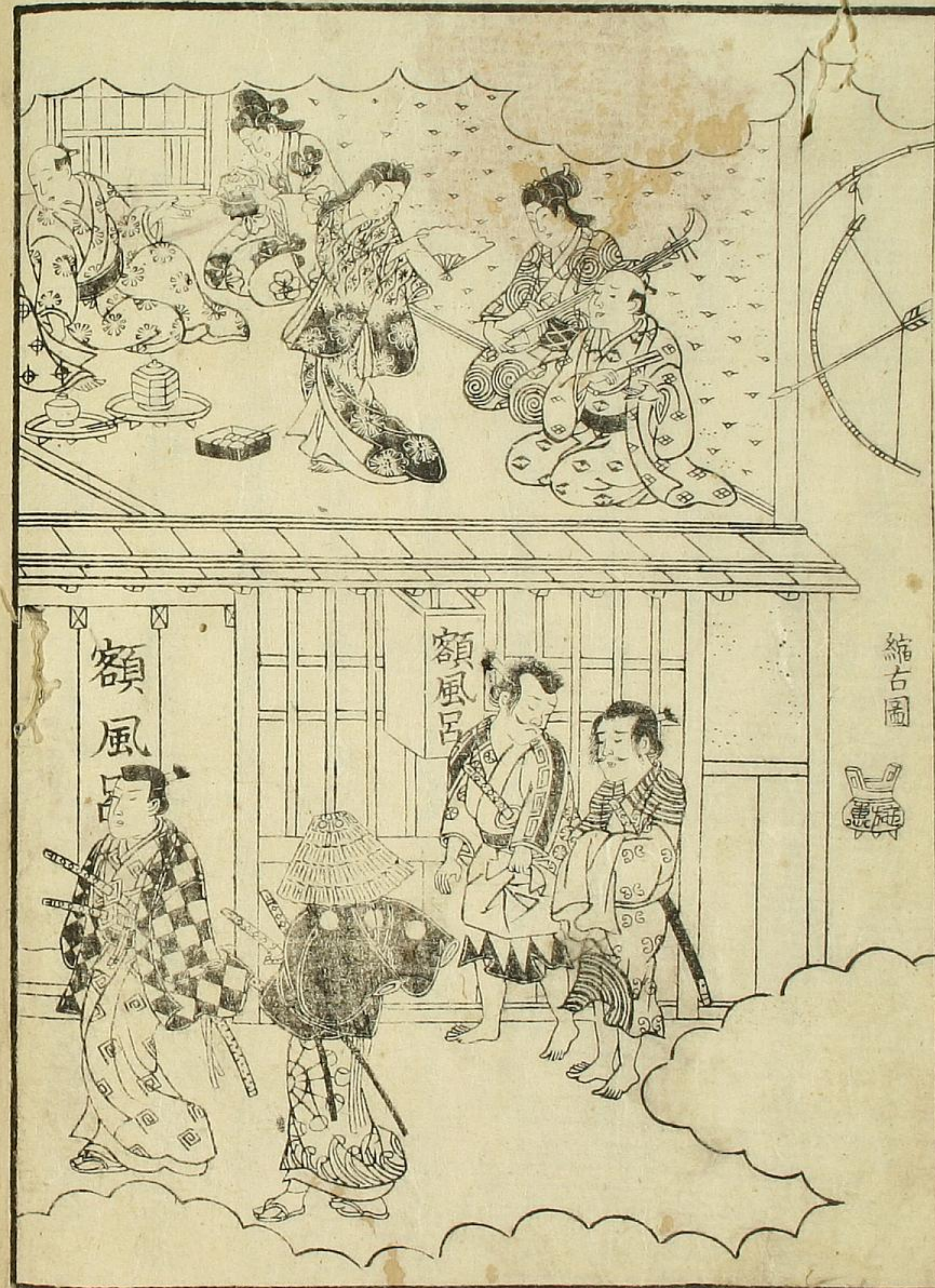
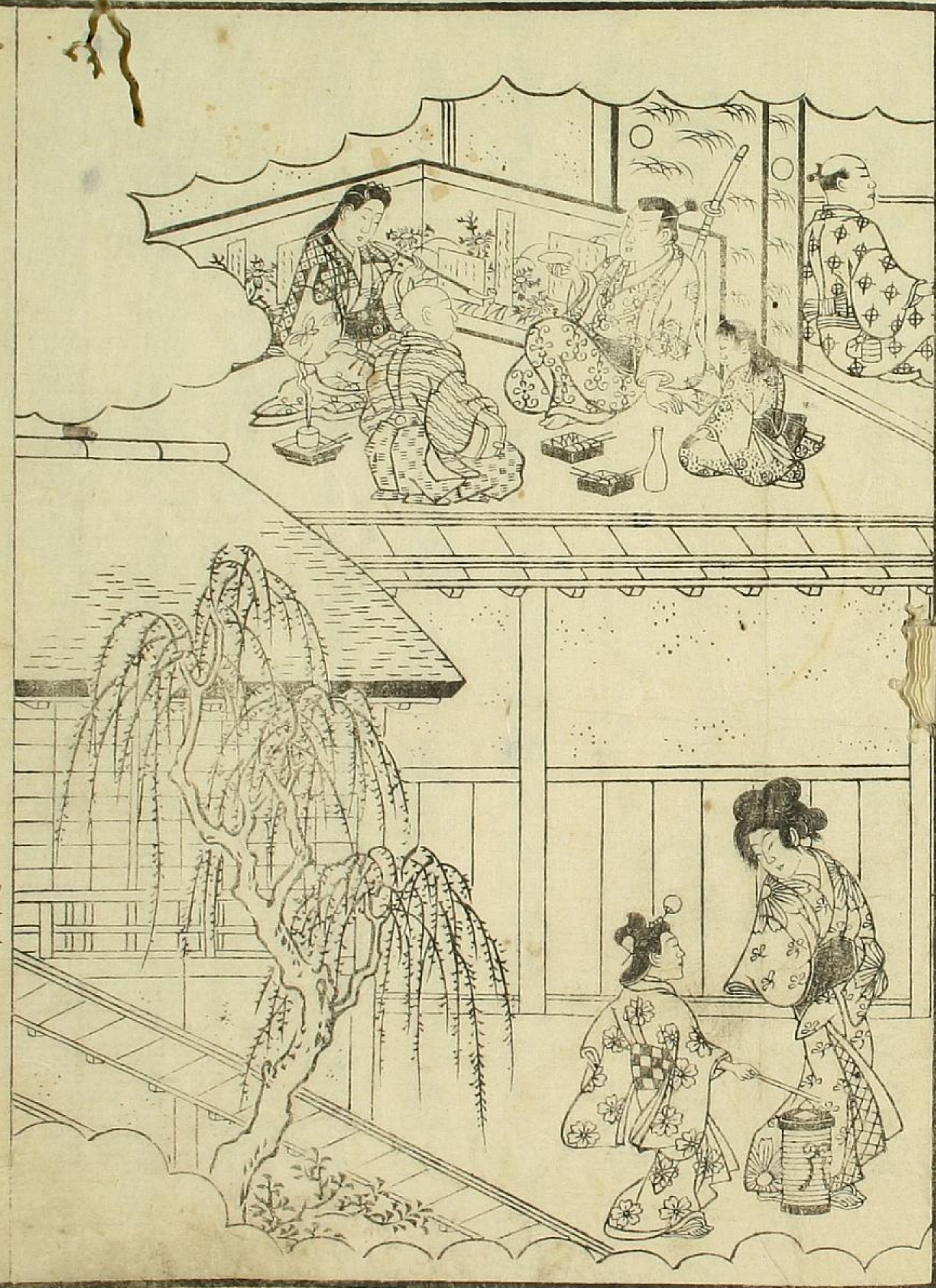
一七八十年以前ハ、孝公人請状不付。若者迹欠。落仕り。其若  
子ハ、爲出。お。渡。の。申。出。と。同。内。出。り。欠。り。て。人。由。用。の。り。私。請。或。ハ

才人代。日。君。奇。く。述。何。分。り。也。由。君。仕。下。り。成。以。又。女。之。請。状。ハ。  
私。妻。注。君。奇。由。君。仕。下。り。成。以。由。請。注。立。中。上。り。孝。公。人。同。奇。  
注。作。付。以。成。也。由。君。仕。下。り。成。以。と。出。し。今。ハ。奇。く。由。分。人。代  
出。り。て。も。爲。出。り。子。也。

一八九十年以前ハ、若者切多。由。孝。公。奇。く。述。或。を。病。身。と。す。  
由。若。不。勤。面。く。也。由。被。換。之。由。若。請。人。是。出。せ。し。友。今。に。右。之  
親。小。普。請。と。り。す。扱。之。比。ハ。百。石。以。下。ハ。由。免。り。く。由。出。百。石  
以。上。ハ。出。次。六。百。石。也。杖。突。き。人。出。す。大。方。百。石。身。付。之。羽。折  
之。親。人。是。と。引。連。出。人。是。の。出。極。大。方。百。石。身。付。式。人。之。人。出。杖  
突。ハ。孝。公。身。に。六。六。度。出。り。人。數。杖。持。持。方。一。月。奉。人。杖。持。つ。不

以手前の中居と出比夜。表石抱比時。主文云。城出入大屋在  
と。係清人。取中比。人足道比。儀小。普清寺。乃中。來扱小。普  
清寺。乃の用人。を。若。界。の。取。中。居。を。中。比。主。旨。ハ。之。人。も。子  
く。紀。古。普。清。場。へ。出。比。中。居。は。大。切。小。お。勤。比。極。中。付。者。ハ。主  
日。七。ツ。色。帰。生。礼。を。致。し。お。勤。し。り。之。後。手。前。人。出。比。中  
止。町。人。の。交。員。之。下。並。成。時。を。百。石。も。有。り。武。米。斗。も。有。り。又。二  
之。百。石。小。寺。分。式。米。も。有。り。右。金。子。と。小。普。清。寺。と。名。付。面。へ  
出。中。比。寛。文。乃。比。より。町。人。清。負。止。比。て。百。石。付。寺。有。死。上。納  
仕。比。之。後。又。小。普。清。寺。合。上。り。百。石。付。寺。有。武。米。宛。に。致。百。石  
以下も出比

一むの。牛込乃。由。堀。寺。之。四。番。町。長。坂。血。籠。須。田。之。左。衛。門  
杯。の。屋。敷。並。比。番。町。方。と。ひ。牛。込。方。ハ。小。栗。寺。右。衛。門。召。合  
七。郎。を。清。乃。筑。又。右。衛。門。杯。の。並。比。牛。込。方。と。中。を。召。合。乃。中。百  
石。余。有。り。系。後。り。毎。度。過。切。有。り。之。後。九。段。乃。命。を。擲。中。招  
九。段。を。清。乃。と。中。小。十。人。流。小。栗。間。文。が。前。より。屋。敷。比  
下。玲。木。次。右。衛。門。松。平。右。衛。門。小。林。若。右。衛。門。支。杯。一。谷  
田。町。主。之。右。付。ゆ。也。七。十。四。間。乃。乃。中。之。成。之。後。牛。込。所。門。一  
谷。所。門。出。來。之。  
一むの。牛。込。船。入。舟。之。可。治。の。比。松。平。隆。興。寺。之。作。付。  
大。川。の。柳。系。堀。寺。一。牛。込。舟。入。扱。之。成。比。古。と。以。小。日。向。乃



額風呂

額風呂

縮古圖



一 荒地。小石川乃荒地出来。是を日向赤城の神まで。  
一 伝説。一軒もなき畑。斗こしより。以て畑を。三季に出来。より。  
一 元禄乃比。荒地出来。

一 本所。小倉。後。吾治の比。武士。屋敷。作付。貞享の比。み  
あ。屋敷。上り。元の田畑。と。後。元禄の比。武士。屋敷。成。

一 昔。新。橋。芝。口。津。つ。な。り。室。永。比。出来。芝。口。津。つ。な。り。室。永。保  
九年。正月。廿九日。大火。して。焼。て。今。は。な。り。

一 本。心。所。町。と。力。同。心。斗。成。り。元。禄。乃。比。皆。上。り。法。本。屋。敷  
と。成。る。

一 む。の。を。松。平。丹。後。古。屋。敷。前。小。町。在。風。呂。有。英。業。を。お。し。

風呂女とて。狂女。あり。婦人。入。込。室。扉。夜。に。成。る。法。度。は。成。る。  
時。風。呂。屋。へ。毎。日。お。き。去。る。吳。名。小。丹。前。へ。お。る。人。と。い。ふ。  
丹。後。寺。前。と。い。ふ。今。不。何。い。も。を。で。なる。風。と。丹。前。と。云。  
是。の。事。也。

一 六。十。季。の。前。の。む。の。男。立。の。事。荒。れ。も。縁。組。も。お。後。  
自。分。を。する。事。は。和。ら。く。お。し。せ。さ。り。し。和。ら。く。より。是。は。和。  
和。又。を。お。易。き。友。達。を。和。解。し。つ。い。合。見。才。通。も。也。後。大。し。  
今。は。子。の。方。を。和。へ。也。後。又。妾。杯。石。仕。小。子。杯。を。和。方。を。外。  
親。類。他。人。へ。無。意。と。い。い。も。か。ら。ず。出。し。し。る。人。は。妾。を。し。  
由。承。承。と。い。い。を。変。わ。る。振。の。成。る。き。と。何。う。そ。不。通。季。は。

自傳して。別深き他人乃あり。も。在。女と出。此。に。

原本初葉另題書名下記數言如左

勅見老人むじりく物終 老人の享保の初八十余葉は物終ハ

寛延多間日記くく

天保丁酉抄冬刻成

# 知新堂藏板書目

神田旅籠町一丁目 紙屋徳八

前北齋畫狂老人筆

繪本和漢譽 全冊

人物を画く。狂老人の古實画法。小町。有様。心。武。の。は。て。す。

柳菴栗原先生著

先進繡像玉石雜誌 初編 五冊

北島親房卿 楠正成卿 万果路藤房卿  
吉田定房卿 菊地寂阿 大坪道禅八道  
頓阿法師 鍛治正宗 高雄寛耀  
三位局 英時妻 土岐頼兼  
大判事景房 頼春妻 尊圓親王  
兼好法師等の像并傳記

歳次目録

戴編

全五冊

北条高時 五代国師 其系統杖 日朗書  
薩 足利高氏云 二佐の子局等の傳系傳  
記と云ふ

三編

全五冊

山本勘次暗幸○細川光之朝臣○日置彈  
正入道の傳系傳記と云ふ

四編

全五冊

真田彈正幸隆○北條早雲入道の傳系傳  
記と云ふ

武林名譽録

全五冊

志津嶽嶮江の軍○竹中半兵衛一色酒  
信小田原道の記○里合又十郎書あ女の  
と云ふ山中康之助の旅行の記と云ふ  
ありし武士の名譽と撰記して洋と云ふ

柳菴雜筆

全四冊

此書は柳菴栗原氏知弱の日記の事記凡百  
有冊伊呂波四十八字より成る座右ふまれと抄  
添して四冊とあるは武士之限の古今の物語町  
人百姓の考考とあると考(記)とて好古博考の  
一端と云ふ

菱湖先生法書目録

前赤辭賦

八分

後赤辭賦

行書

岳陽樓記

真書

歸去來辭

行書

醉翁亭記

草書

五柳先生傳

草書

阿房宮賦

行書

上 田 芳春帖

坂倉素鶯書

上 田 孟春帖

隨雙軒素俊書

上 田 陽春帖

素鏡先生書

尊圓 親王 琵琶引

正面摺一帖  
折本

御 家 千歳日用文章

橘王敬  
先生筆



繁榮用文章大成 馨齋

六阿彌陀詣巡拜記

真道中膝栗記 十返舎九作 全十五冊

滑稽水掛論 十返舎九作 全三冊

重校正 三體詩 大本全三冊

姫松百人一首 一冊

增補大成年代記 西面摺一牧

改正 文壽年代記大成 新刻

秋山水年墨仙著

富士見 輿地之全圖 全三冊

武藏安房上總下總常陸上野下野 相摸駿河甲斐伊豆信濃遠江

城下陣屋驛村支御新田關所古城 古戦温泉神佛名勝舊迹

增 東條琴臺先生著

補 東都近郊全圖

增 春草堂高木保繼誌

訂 東都近郊全圖

山崎美成先生著 佐竹永海先生画

提醒紀談 全五冊

源清風著 葦山隨筆 全三冊

新見正朝述 八十翁昔語 全三冊

古今遠鏡補正 全三冊

此書ハ近世の明々良良及後逸奇人の耳近の  
了り源了死一忠孝いふもこつて侯約所又去  
と為る春修て戒むむ保と成強者の夫況  
又の怪談の實のて成たさいせつとるん  
録一熟後しるこさな若者應求の程  
どの知了とあつるさなん脚るる夫  
下を其のあつるこまあり

津山の廣瀬清風の隨筆ふりく  
雅俗と文士の旨を明々一書し

元禄以前寛永正保のころ世間の  
質素をり一俵を記さ一書なり

古今集の款を解き俗ふよくはら  
りよく説きよりたる書なり



新編歌俳百人撰

柳下亭種員撰  
一陽齋豊國画

近者より歌と嗜と俳諧と好む人其名高き中より尋常ありぬと集めて歌俳百人撰とて安永の石雪居海壽の二冊の物也一冊字本をせし海壽は是と視て名歌俳ありて若其人の傳いおやるとわれ雪の朝小室庵と捲けい入るとその朝のわろと写る心地をさるれば亦く其傳と流るるる画像とほどもあけはるる自然なる人のありて其の想像せん昔も慕ひと嗜す捷徑ありぬはる捷速ありぬと書輝知新書ありぬと実もさるる系流行は英名と共なりしむ村世もから碧空子明月と觀るるを萬ありぬ不ゆ又傳る義名から本方大なる姓も洋ありぬと大山様と流るる谷間より類して欽慕の情も書用ありぬとこれと委曲記せしむ曾原本より憚りぬ混りぬ列行の便あり者にて更なること補入れて教不充む抑歌俳は活物也其徳小徒の俊傑の吟詠は拙らぬふかしくと察も支那道にあつ海壽らそらひも則是ありて花朝月夕諸臣の歌とてまゝあて賢愚を試せむひ一守のこぼれありぬ漫半頁填あり

重修真書太閤記 初編卅冊

昌盛法師願文より曰吉凡誕生曰吉凡松下小仕へ元服く木下教吉郎と名兼大馬天を解き桶皮職のて又織田家小仕へ妙の軍金銭の弁上敵の槍より桶狭の前まで

同

二編卅冊

永祿二年八月十八日義元死より秀吉の色の吹雪黒股若葉後稻葉の落城新章の馬印伊勢合戦室町合戦より覺慶新の方とあり朝倉より美濃へ後信長出馬明智光秀仕成まで

同

三編卅冊

永祿十一年八月新方上洛の別城を攻落し三好三人丸京都退去信長京入將見及五郎とて本寺合戦將軍御所遣受伊勢合戦織田出馬敵を退口井上大木村又病とて小谷町を退つて

同

四編冊

元龜元年六月好川合戦秀吉横山を  
五郎河内福見一揆三好朝倉津井  
坂本野陣堅田合戦山門焚掠八雲の言  
浅井清隆を降し朝倉義宗生陣并最期  
浅井長政滅亡賊一揆皆起す

同

五編冊

天正三年今川氏真千鳥番がを信長小  
頼一長條合戦越前一揆征伐安土  
普請二条城造り羽柴秀吉勳當松永  
久秀諸城滅亡上月合戦別所津板板  
本丹波城攻天正十年勝頼を攻る

同

六編冊

天正十年信長自身先秀を打擲妙心寺  
蘇鉄安土宗論秀吉備中忍合戦高松  
水攻信長二十八條の悪事本能寺合戦  
信長生害二条軍信忠生害伊賀越光秀  
安土攻毛利と秀吉和睦上洛す

三 都 書 林

三條通升屋町

心齋橋通北久太郎町

同 博勞町

同 筋本町角

日本橋通二丁目

同 二丁目

同

芝神明前

本石町十軒店

大傳馬町三丁目

横山町三丁目

浅草茅町三丁目

筋違御門外旅籠町三丁目

出雲寺文次郎

河内屋喜兵衛

河内屋茂兵衛

河内屋藤兵衛

須原屋茂兵衛

山城屋佐兵衛

小林新兵衛

岡田屋嘉七

英子屋大助

丁子屋平兵衛

和泉屋金右衛門

須原屋伊八

紙屋徳八

